

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひ協力ください。

本報告書は帰国後、写真データと共にメール送信で提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)

氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	WHU -Otto Beisheim School of Management
留学先での所属学部・研究科:	Bachelor of science
留学先での在籍身分:	Exchange student
留学期間:	2019.9 ~ 2020.4
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日・オンライン授業終了日:	帰国日: 2020/3/18 オンライン授業終了日: 2020/4/27
本報告書記入日:	2020/7/30

1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	9月 2日
	学年終了月日:	4月 30日
	学期:	① 9月 2日 ~ 10月 25日
		② 10月 28日 ~ 12月 20日
③ 1月 6日 ~ 3月 2日		
④ 3月 3日 ~ 4月 30日		
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	小規模大学であること/ 企業との連携が豊富であること/ アントレプレナー/ ファイナンス
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	タンデム(ドイツ語⇄日本語を教え合う、Facebookに大学がホストのコミュニティあり)、留学生向けのドイツ語の授業(4段階にレベル分けされている)
	勉強面でのサポート:	大学主体で何かサポートがされるわけではないが、教授との距離が近く、質問はしやすい
	精神面でのサポート:	週一回大学にカウンセラーがやってくる。大学の国際交流室も何かあれば対応してくれる。
1-3	住居・生活面でのサポート:	大学が所有するものではなく、一般のアパートが割り当てられるため、その家主との関係になる。したがって、どの寮に住むかによってかなり異なるが、自分(Heerstrasse 51)の場合は特に大きな問題はなかった。他の留学生からの情報から、どの寮も特に問題などを耳にしたことはなく、適切なサポートが提供されていたのだと思う。しかしSmartflatに住居していた学生からは時折家主の愚痴を聞かされていた。
	課外活動のサポート:	特に大学側からのサポートはないが、それぞれの団体から頻りにメールが届き、それに反応すれば参加できる。部活動に所属している留学生もいた。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	小さな町に住むことになるため、基本的にどの寮に住んでも大差ない。そのため基本的に選択基準はその値段になり、その中で最も人気なのはCKKと言われる寮です。自分は申し込みのタイミングが遅れてしまい、ここに住むことができませんでしたが、ここは留学生がメインで居住しており、コモンスペースも存在するので留学生間のコミュニティ形成がしやすいです。うるさくて周辺住民からクレームが寄せられるほどには色々開催されていました。
-----	--------------------------------------	---

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について 住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	無料で利用できる。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	無料で利用できる
3-2	医療について 留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	いいえ。 水道水は飲めますが、自分は胃腸が強い方ではないため、そのまま飲まないように気をつけていましたが、沸かして袋麺に使ったり、料理に使ったりはしていました。
	銀行口座等について	
3-3	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	ドイツに留学する場合は、みなさん閉鎖口座を作ることになりますが、閉鎖口座から直接お金を引き出すことはできないため、別の銀行に普通口座を開設し、そこに閉鎖口座からの毎月のお金が流れてくるように設定しなければなりません。自分の場合はドイツ到着後に閉鎖口座をExpatrio、普通口座をN26というそれぞれインターネットバンクで作成しました。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	¥80,000
4-2	その他(渡航費等の支給):	
	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	150,000円
	住居費:	(月額) 59,700円 × (留学期数) 8ヵ月 = 477,600円
	食費:	(月額) 2.5万円 × (留学期数) 8ヵ月 = 20万円
	保険料:	67,320円
	その他:	約50万円
合計(留学期間全体の費用):	約140万円	

5. 異文化体験について	
5-1	<p>留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。</p> <p>大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。</p> <p>課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。</p> <p>留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)</p>
	<p>全体的に落ち着きがあってメリハリのある生活を送っているように感じました。もちろん平日に旅行をすることもありますが、平日に街に出てビールを飲みながら休日のように過ごしている現地人がいたこともよくあり、時間に縛られない生活をしているような印象を受けました。メリハリのある生活という部分に関して、これは現地の学生から感じたものですが、テスト前は図書館にもって勉強、それ以外は毎晩のようにパーティーのような生活がWHUでのペースとなっていました。</p> <p>小さい街であること、自分の住居は大学ではなく地元の人が管理している事から、現地の人とコミュニケーションを取る機会は他の留学先と比較しても多い方ではないかと感じています。前者に関して、地域のレストランなどは通い詰める顔を覚えてくれるようになります。私も、アパートの一階にあるパン屋さんは入店するだけでいつものパンを出してくれるようになっていました。後者に関して、アパートの掃除の仕事を例のパン屋さんのおばあさんが担当しており、その人とも仲良くなりました。彼女は英語があまり話せませんが、いつも積極的に話してくれ、コロナウイルスの影響で急遽帰国すると伝えた時は一生懸命に英語を思い出しながら「you are lovely boy」と言ってくれ、とても嬉しかったです。</p> <p>留学前から、後期はインターンシップに費やしたいと考えていましたが金銭的な問題と言語的な問題があり断念しました。前者に関して、ドイツでのインターンはほとんどミュンヘン・ベルリン・ケルン・ボン・デュッセルドルフでの勤務になるのですが、居住地から最も近いボンでも少なくとも1.5時間かかります。そのため、インターン期間中はその近くに住むことになるのですが、寮費はセメスター毎での支払いのため、インターンの期間中は二重に家賃を払うことになってしまいます。これが1つ目の問題です。後者に関して、やはりドイツ国内でのインターンということではほとんどの場合、応募資格にドイツ語を最低でも読み書きできることが含まれています。私はこれを満たしていませんでした。もちろんドイツ語を必要としないものもありますが、今回は自分の求めていた職種ではありませんでした。これが2点目の理由です。私の場合はこのようにインターンを断念しましたが、WHUでは数多くのインターン募集がかかっています。上に記載した通り、基本的には少なくとも3ヶ月程度の長期間採用であること、ドイツ語を習得していた方が勤務の幅が広がること、を念頭に置いた上であればインターン参加も大きな選択肢の1つとなると考えています。</p> <p>WHUがある町、Vallendarというところですが、私は大好きな町でした。非常に小さな町であり、娯楽こそ少ないですが、すぐ近くにライン川が流れており、何もなただの道があり、山があり、と毎日大阪環状線の満員電車に乗り、大阪駅で人混みにのまれながら通学するという生活を2年半送っていた自分にとっては非常に貴重で幸せな時間でした。これだけを見ると、自然の中で瞑想する毎日を送っていたように見えてしまいますが、学生無料のバスに20分乗るとKoblenzというそれなりの街に出ることができ、そこには複数レストランがあるため、そこに行ったり、留学生とホームパーティーをしったりという生活もしっかりと送っていました。これまでの内容である程度推測できるかと思いますが、テロや外国人への差別とは無縁の地域です。</p>

6. 就職活動について	
6-1	<p>留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。</p>
	<p>はい。ポストンキャリアフォーラムへの参加(複数社)と、留学生向けの特別選考(一社)への参加です。後者に関して、HPに国内選考のみの開催と記載されていたため、人事部に留学生向け選考の開催があるかどうかに関して連絡をしたところ、その時点では開催予定なしという回答をされていたのですが、数ヶ月後その企業から連絡があり、私のように事前に連絡をしていた留学生向けに特別に選考を行うということで現地にいながら選考に参加することができました。</p>

7. アドバイス、振り返り	
7-1	<p>現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。</p>
	<p>地球の歩き方、ドイツ留学経験者のブログ、Facebookにドイツ在住日本人向けのグループがあるので、そこに参加するとドイツ在住歴の長い人に色々質問することができます。おそらくこのようなFacebookグループは他の国でもあるのではないのでしょうか。食料等は基本的に探せば手に入るものが多いですが、値段がかなり高いため、頻繁に使いたいものはキャリアケースの重量に問題ない範囲で持って行っていった方がいいと思います</p>
7-2	<p>現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。</p>
	<p>語学力の向上、多様な価値観の共有が最も大きい2つだと感じています。前者に関して、WHUの現地学生の英語レベルは非常に高いです。それに加えてイギリスアメリカからの留学生が多いため、ネイティブの英語に触れる機会も多くあります。それと同時にインド等アジア圏からの学生も多いため、いわゆる「訛り」にもなれることができ、非常に良かったと感じています。後者に関して、留学中は様々な問題を抱えることになるかと思いますが、それを他国からの学生と共有すると、自分ではなかった視点からその問題を捉えてくれたため、課題を多面的に捉える能力や癖がつかまりました。それ以来は何か問題を考えた時も悲観的にならずに、建設的な思考ができるようになったと感じています</p>
7-3	<p>留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)</p> <p>語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。</p>
	<p>留学前:() 点 → 帰国後:() 点</p>
7-4	<p>振り返って見て、何が最大のトラブルでしたか。</p>
	<p>ドイツ到着直後にドイツ人学生にと連絡をとられたことです。私の留学前、WHUから神戸大学に留学に来ていた学生がおり、私は彼のチューターをしていました。その関係性の中で、彼が「フランクフルト空港からWHUまで車で送ってあげるからドイツに来る前に連絡してくれ。それとこっちに来てからの手続きも全部手伝ってあげる」と言ってくれていました。そのため、フランクフルトから2時間半の道のりですが下調べはほぼなしでした。そして出発数日前、連絡するも返事なし。トランジットのベトナムに到着するも未だ返事なし。そこで諦め、フランクフルトからの道を調べ、寮に到着しました。結局連絡が返ってきたのは、私がドイツに留学した5日後、彼と同じ授業がある日でした。ドイツ到着後いきなり、あまり人は信用しすぎるものじゃないと考えてしまうようなトラブルがありました。</p>
7-5	<p>留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。</p>
	<p>親切で丁寧なサポートをして頂き大変感謝しています。</p>
7-6	<p>本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。</p>
	<p>薦めます。海外留学に強い関心がある人にとっては、私費留学と比較した時の費用の小ささは大きな魅力になりますし、海外留学に対する興味があまりない人にとっても、4年での卒業が実現可能な範囲で留学に行き、未知の体験を積めることは非常に価値のあることだと考えているからです。</p>
7-7	<p>留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。</p> <p>・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか</p> <p>・留学先大学の学生サービスに満足しましたか</p> <p>・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか</p> <p>・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか</p> <p>・全体として留学に係る費用は安かったと思いい、満足しましたか</p> <p>・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか</p> <p>・留学全体の総合的な評価</p>
	<p>(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p>

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

半年強の留学生活を通じて自分自身は大きく成長したと感じています。「物事を見る切り口が増えた点」と「海外の同世代のキャリア形成に触れることができた点」の2点が特に自分にとっては大きなものでした。前者に関して、私は以前から物事を悲観的に捉えてしまう事が多くありました。そのため、ある物事について深く考え込むけれども結局答えが出せずに苦しんでしまうという経験も多かったです。しかし、留学中は日本人がほとんどいなかったこともあり、外国人の学生に自身の抱える悩みを話すと、自分では気づかなかったような視点からアドバイスをもらう事が多くありました。私は問題だと思っていることも彼らの視点から見ると、問題ではなかったり、もちろんその逆であったりということを経験する事によって、自分一人であってもある現象に対して様々な視点からその問題点を把握しようとする姿勢を持てるようになりました。これは私にとって大きな成長であると感じています。後者に関して、私はこの交換留学を経験するまでの人生においてほとんどの時間を日本で過ごしてきました。海外で過ごしたのは1年前の1ヶ月のみです。大学に入ってからKIBERプログラムに参加したため外国人と話す機会も増えましたが、それまではずっとスポーツに明け暮れていたこともあり外国人と話した経験すら全くないという状態でした。したがって、私は日本でのキャリア形成しか知らない状態でした。高校を卒業したら就職するか大学に行く、大学を出るとすぐに新卒で就職をする。これが当然だと思っていました。しかし留学を始めると、同じ卒業年の学生はすでに社会人を経験していて年齢が自分よりもかなり上であったり、大学院への進学がスタンダードになりかけていたり自分が思い描いていたキャリア設計とは全く異なる人だらけでした。この経験をする前の私は無意識的にここを卒業したらこうしなければならないという考えのもとである種無理矢理に選択肢を絞ってしまっていたのかもしれないと考えるようになりました。特に就職活動中にこの経験ができたのは自分にとってかなり大きかったと考えています。これによって私は自分自身のキャリア形成に幅を持たせる事ができ、留学前は想定していなかった進路をとる事になりました。もちろんまだその生活は始まっておらず、この選択が正解かどうかはわかりませんが、自ら成功に推し進める力と、不正解であってもその時にまたキャリアを作ることできると考えられるようになったのは留学の経験があったからこそだと考えています。私は以上のようなことから留学を経験して良かったと感じています。

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！

9-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。) ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
9-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-5	国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。(留学体験の発表等) ※可能な場合、後日連絡することがあります。	はい
9-6	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	nomuken8787@gmail.com

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 / 週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Business Ethics	Louisa Blödorn	3h	4.5	英語	60程度	テスト80%、グループプレゼン20%。経営倫理に関する授業で、テストはそのケース問題。授業内で紹介されるフレームワークを用いてケースを分析するもの。私の時は日産のカルロスゴーンの件が出題された。プレゼンもケース問題で、割り当てられた週に学習するフレームワークを用いてケースを分析するもの。必ず現地学生4~5人+留学生1人というグループを作る必要がある。
2							
3							
4							
5							
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

WHUでは強制的に現地学生とチームを組まされる事が多々ありますが、この時に主導権を握らなければ基本的に仲間に入れてくれません。現地学生はもちろん仲のいい学生同士でチームを結成するため、仲のいいグループに留学生一人という状態になります。現地学生がグループワークでドイツ語ばかり使用するというのはある程度の留学生の中では共通の話題で、私の場合は、ドイツ語でグループワークが進み、みんな私に何も言わず勝手に終了して勝手に帰っていったという事もありました。しかし大学院生は留学生との会話にかなり積極的で、自分もドイツ人の大学院生とはよく話していました。少し話は逸れましたが、WHUの授業は基本的に講義形式ではあるものの、プレゼンや最終課題といった形でグループワークが課されることは多いため、積極的に発言する力は十分につけておいたほうがいいと思います。